



医療技術部門紹介

リハビリテーション科とは、病気あと、残った能力を最大限に引き出すための運動指導や介護用品などのアドバイスなど、自立支援のお手伝いをする部門です。当院では理学療法士4名と助手2名が従事しています。

対象としては、息切れのある方、肩や膝などの痛みでお困りの方、脳血管障害による後遺症を有している方などです。特に、当科では呼吸リハビリテーションを専門として行っており、在宅酸素導入時の呼吸指導、運動療法や、鼻マスク式人工呼吸器の導入などにも積極的に取り組んでいます。また、平成14年からは訪問看護ステーションわかばと協力して訪問リハビリテーションも行っております。

色々な病気をもちながらもより快適に生活していくためには、その病気を良く知り、上手に付き合っていく必要があります。私たちはそのための知識や具体的な方法を提供させていただきますが、一番大切なことは患者さまご自身の強い意志と行動力です。興味がある方は一度リハビリテーション科を覗いてみてください。皆様の生活がより快適に過ごせるようお手伝いさせていただきます。

リハビリテーション科



主任 関川 則子

MEとはMedical Engineering(医用工学)の略語ですが、当院では「ME機器の保守管理」という意味で使用しており、1991(平成3)年9月に「ME科」を開設しました。「臨床工学技士」という国家資格で、生命維持管理装置(人工呼吸器や人工心肺、人工透析など)の操作および保守管理が、一般的な業務です。さて、院内ではいろいろな医療機器を使用し、治療や検査をおこなっていますが、医療用に限らず、機器はいつか必ず故障します。しかし、使用中にトラブルが起きるのは、極力避けなければいけません。そのためには、日々の点検が重要になります。それらの医療機器を一括して保守管理しているのが、ME科です。当院では、いったん治療に使用した機器は、次の患者さまに使用する前に、毎回、正常に作動するか点検しています。それで

ME科



科長 金廣 伸夫

もトラブルが起きたときのために、予備を必ず用意しています。また、人工呼吸器など生命に直接関係している機器は、正常に作動しているか、定期的に病室を巡視しています。「医療機器の安全管理」それがME科の重要な役割です。

眼科外来は、眼科医1名、看護師2名、視能訓練士1名で従事しています。

視能訓練士とは、「視能訓練士法」という法律に基づく国家資格をもつ技術者で、医師の指示のもと視機能検査、視能矯正を行うとともに斜視・弱視の訓練治療にもたずさわっています。

外来での主な業務は、診断治療に必要な視機能検査を行う事や患者さまが持つ視力を最大限生かせる方法(メガネ・補助具など)を提供する事です。視機能検査には視力検査をはじめ、見える範囲(視野)、色の判別、両眼を使った立体感覚、ピント合わせ、目の動きの検査などがあります。それぞれを正確に検査することが、適切な診断治療につながります。検査には時間がかかり疲れるものもありますが、なぜ必要なのか患者さまによく理解して頂けるよう分かりやすく説明し、スムーズに検査が進むよう努めています。また患者さまとのコミュニケーションを大事にして患者さまの用途にあったメガネ等を処方し、より良い視的環境を提供・アドバイスできたらと思っています。

視機能検査、視能矯正のエキスペートとして、皆様の大変な目の健康を守るお手伝いをさせていただきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願ひ致します。

眼科



視能訓練士 平山 由佳

栄養科



主任 池浦 哲也

栄養科は病院栄養士2名・委託社員16名で構成され、栄養指導や入院患者さまへの食事提供を行なっています。主な取り組みとして①『安全でおいしい食事の提供を心がけています』。HACCP(※注)の概念に基づく衛生管理を取り入れ、食材の仕入れから調理・配膳・喫食までの各作業工程での衛生管理体制を強化し、安心して召し上がっていただける食事作りを目指し日々努力しております。

毎月1回、手指・器具類・食品などの自主細菌検査を実施し、衛生面での問題点を見つけ改善を行なっています。

②『患者さまの一日も早い回復を願い栄養面からサポートしています』。

食事量の少ない患者さま・嚥下の困難な患者さま・摂食障害のある患者さまなど一人ひとりの状態に合わせた食事の提供を行なっています。

③『患者さまにメッセージカードをお配りしています』。(写真)

ひなまつり・こどもの日・七夕など年6~7回入院患者さまに季節を感じ心穏で頂けるよう行事食と共に手作りのメッセージカードをお届けしております。

今後も、患者さまに安全でおいしい食事の提供ができるようスタッフ一同努力して行きたいと思っております。また、栄養や食事に関してご相談などがあればお気軽に声をかけてください、お待ちしております。

※HACCPとは、1960年代アメリカ航空宇宙局(NASA)において宇宙食の安全性を確保するために開発された衛生管理手法です。



医療技術部門紹介	1
アスベストについて	2
平成19年度呼吸リハビリ教室	2

アスベスト・中皮腫専門外来について	2
なるほど放射線科「第7回」	3
動脈硬化検査(CAVI)について	3

アスベストについて

健康管理科 医長

吉田 敬



アスベスト(石綿)とは、蛇紋石や角閃石が繊維状に変形した天然の鉱物のことです。防音・断熱・保温を目的とした建築資材、電気製品や自動車の部品などに幅広く使用されてきました。1970年代からアスベストと肺の病気との関連性が明らかになりました。

アスベスト(石綿)が関連する肺の病気

①アスベスト(石綿)肺

肺が線維化(肺の組織が硬く伸びにくくなること)としてしまう病気です。肺の線維化はアスベスト以外でも生じるため、アスベストによる肺線維症をアスベスト(石綿)肺と呼びます。アスベストを10年以上吸入した方に起こると言われており、潜伏期間は15〜20年と言われています。

③悪性胸膜中皮腫

肺を取り囲む胸膜にできる悪性の腫瘍です。若い時にアスベストを吸い込んだ方のほうが悪性胸膜中皮腫になりやすいことが知られています。潜伏期間は20〜50年と言われています。

②肺がん

アスベスト線維の物理的刺激により肺がんが発生するとされています。喫煙と深い関係にあることも知られています。曝露量が多いほど肺がんの発生が多いことが知られており、潜伏期間は15〜40年と言われています。

これらの病気には確実な予防手段がないため、早期診断が重要です。アスベストの健康被害はアスベストを吸ってから長い年月を経て出てきます。アスベストを扱っている方、あるいは扱っている方は、定期的に健康診断を受けることをお勧めします。アスベストを吸い込んだ可能性のある方で呼吸困難、咳、胸痛などの症状がある方、そのほか心配な方は当院内科外来にご相談ください。

- * 診察日時:水・木曜日 午後
- * 予約制です。必ず電話で予約をして、診察を受けてください。
- * 呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科でチーム医療体制を取りながら健康被害の相談に応じています。

アスベスト・中皮腫専門外来について

予約電話番号 **082-241-2167** (内線252)

平成19年度 呼吸リハビリ教室 ~より快適な生活を送るために~

月日	内容	担当
4月13日	<ul style="list-style-type: none"> ● 教室開催にあたってのあいさつ — 院長 ● 呼吸不全の病気について — 医師 ● 呼吸体操 — 理学療法士 ● 自己紹介をして親睦を深めよう 	<ul style="list-style-type: none"> * 自分の病気を知り、なぜ酸素が必要なのかを理解しましょう。 ● 入浴がラクに行えるコツ
5月11日	<ul style="list-style-type: none"> ● 呼吸リハビリってなに? — 理学療法士 ● 呼吸体操 — 理学療法士 ● 着替えが楽に行えるポイント 	<ul style="list-style-type: none"> * 呼吸リハビリは「生活を少しでも快適に」が目的です
6月8日	<ul style="list-style-type: none"> ● 体力測定の実施 (肺機能 6分間歩行 握力 身長 体重 体脂肪 等) 	<ul style="list-style-type: none"> * 自分の体力を知りましょう
7月13日	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急時の対応について(停電時) — 看護師 ● 体力測定の評価 6月に行った体力測定の結果の説明 * 作品展を予定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> * 自分の体力の評価をして、自分に合った運動を知りましょう。 ● 症状が重くなる前に
9月14日	<ul style="list-style-type: none"> ● 呼吸不全に関する主な薬 — 薬剤師 ● 呼吸体操 — 理学療法士 	<ul style="list-style-type: none"> * 薬の飲み方と役割について知りましょう。 ● 洗面・トイレを楽に行う
10月	<ul style="list-style-type: none"> * 旅行を予定しています 8月頃には案内をお配りします 	<ul style="list-style-type: none"> * 楽しい旅行でリフレッシュしましょう。
11月9日	<ul style="list-style-type: none"> ● たんの出し方 — 理学療法士 ● 呼吸体操 — 理学療法士 ● 風邪をひかないために — 看護師 	<ul style="list-style-type: none"> * 冬の生活の工夫 ● 家事のワンポイント
3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ● 呼吸不全の患者さまに必要な栄養 — 栄養士 ● 呼吸体操 — 理学療法士 ● 社会資源の活用法 — 医療ソーシャルワーカー 	<ul style="list-style-type: none"> * 適切な食事とは * 社会資源を知ろう ● 車の乗り降りのコツ

場所: 吉島病院 健康管理センター 2階 講義室

開催日: 第2金曜日

時間: 15時から16時

(注意)今年から第2金曜日になりました。

8月・12月・1月・2月はお休みです



- 毎回、教室の最後に全員で歌を歌います。
- 在宅酸素療法中の患者さま・ご家族の皆様はもちろんのこと、興味のある方もぜひご参加ください。
- 日常生活が楽に過ごせるワンポイントアドバイスも行います。

吉島病院 呼吸不全協議会

なるほど放射線科「第7回」

MRI検査について — 4

乳腺MRIについて

ここ最近、テレビのCM等においても、乳がんに関するものが増えていきます。乳房の検査と言えば、まず始めにマンモグラフィ検査を思い浮かべる方が多いと思いますが、この検査で異常が見つかった場合、次に受ける検査が超音波検査、そしてMRI検査となります。当院でも乳腺MRI検査を行っています。が、MRI設置以来、数多くの撮影を行ってきました。その数は年々増加傾向にあります。超音波検査では、異常は本当にあるのか、あるならばそれはどういった性状のものか見えます。MRIでも同様にとのような性状のものかを見ていきますが、さらにそれがどれくらい広がっているかなどを詳しく診ていきます。

乳がんの場合、この病変の広がりは手術の際に大きく関わってきます。広がりが大きな場合には、やはり切除範囲も広がってしまうからです。MRI検査では、造影剤を用いることにより、この病変の広がりを調べるのもっとも適する検査とされています。

乳腺MRI検査では丸い穴が二つあいた台の上に、うつぶせに寝た状態でを行います。この二つの丸い穴に乳房を入れて検査を行うのですが、両手を挙げた状態で行うため、多少の苦痛を伴います。当院では、この苦痛を少しでも和らげるため低反発の枕を使用し、

放射線科

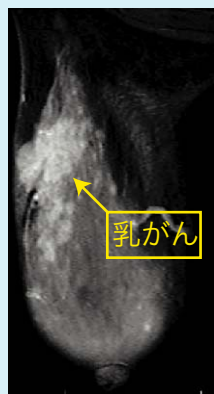
印平

紫



MRI検査特有の騒音に対しては患者様にヘッドホンをつけていただき、お好みの曲を聞いていただきながら検査を行っております。さらに、看護師も撮影技師もほぼ女性スタッフで行っており、患者様にリラックスした状態で検査を行っていただけるよう努めています。一見、大変そうな検査に思われるかもしれませんが、マンモグラフィ同様、MRI検査は乳がんの診断にとって、とても有用な検査となっております。

ご不明な点やご質問などがございましたら、お気軽にスタッフまでお尋ね下さい。



造影乳腺MRI画像
病変の広がり診断
(白い部分が病変部)



乳腺MRI検査で



低反発枕を使用し、
うつぶせにした状態で

MRI検査料金

3割負担の場合(診察料等は別)	約7,000円
造影あり	約12,000円

動脈硬化検査(CAVI)を開始しました

臨床検査科 伊藤 澄子



当院では4月に動脈硬化度を直接的に、簡単に診断する検査機器を導入しました。(CAVI検査)

気をつけようこんな方は動脈硬化の進行に注意!

- コレステロール・タバコを良くすつ。
- 中性脂肪の検査値が高い。● 糖尿病と医師に言われた。
- 血圧が高い・高血圧と言われた。● ストレスが多い。
- 運動不足がちで肥満体型。

動脈硬化は、脳梗塞や心筋梗塞などの重度の循環器疾患と深いつながりがあります。

これらを防止するためにも早期動脈硬化をいち早く発見し、予防や治療、健康管理に役立てることが大切です。動脈硬化症は痛みや苦しみが無いいため気づきにくく、知らない間に病状が進行し取り返しのつかない状態になる可能性を秘めています。年に数回程度、検査をすることをおすすめします。

CAVI検査は簡単。



四肢に血圧測定用のカフを巻き、心音センサを胸部にクリップを手首につけ4分程度で終わります。(計測に血圧を使用するため不整脈がある場合はデータが不正確なる可能性があります。)

動脈硬化検査料金

3割負担の場合(診療料等は別)	450円
検診の場合	オプション 2,100円(税別)